

令和4年度 北見カトリック学園 網走藤幼稚園 学校評価

1.教育目標

- 1、神様から一人ひとりが愛され、かけがえのないものとして、慈しまれていることを知り、祈る心を育てる
- 2、自然の中で遊び、神様の大きな業を知り、その恵みに感謝し全てのものを大切にすることを育てる
- 3、人との関わりの中で、聞く力・話す力・考える力を養い自立心を育てる
- 4、自発的に善を行なう強い心を養う
- 5、共生の喜びを感じることでできる子どもを育てる

2. 教育目標達成に向けての令和4年度の重点

- 1、「かみさま愛をありがとう」を保育のテーマに持ち、神さまを身近に感じ、感謝する心を持てるよう努める。
- 2、園児の発達年齢に即した教材研究、教材準備を充実させ、援助と指導に努める。
- 3、年齢相応の自覚を持ち行動できるよう自立に向けた援助と指導を行う。
- 4、保護者との連携を取りながら、園への理解と協力を図る。
- 5、認定こども園に於いて、利用時間が多様な子どもが増えることを踏まえ、教育・保育内容の見直しと、充実を図る。

	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	4	・感染防止を第一に考えた保育の中にも、子どもたちに必要な環境や経験、学びの場を設定し、保育に取り組んだ。行事を見直す良い機会にもなり、良い面を次年度へつなげ、より充実したカリキュラムへと見直しを図っていく。 ・行事の反省等に努め次年度へ活かせる物となった。 ・宗教教育について年間を通し計画を立て、園がまとまって取り組むことができた。 ・保育アプリ「コードモン」を導入し実施した。保護者の協力を得て保育業務の円滑化を図っていく。
保育の充実と園児との関わり	3	・個別の支援を必要とする園児の、支援計画の充実や地域との連携を深めることができた。 ・預かり保育利用園児は低年齢の園児が増加傾向にあるため、職員の加配を行うと共に、保育内容の充実を今後も図り、子育て支援を行っていく。
安全管理	3	・地震・火災・津波訓練・安全点検などの充実を努めた。 ・園児の遊びや活動を見なおし、事故や怪我の軽減に努めた。 ・津波訓練の実施と冬季を想定した避難を日ごろの保育に取り入れ、「歩く」経験を継続して積んでいる。今年度は地域町内会と連携した訓練を行った。 ・年間を通してのコロナ、胃腸炎等の感染対策等、感染予防、衛生管理の見直しを図り、職員研修も継続をしていく。 ・園バスの安全管理やマニュアルの見直しを行い、職員研修も再度行った。
地域の幼児教育機関としての役割	3	・学校評価の関係者評価を実施し、地域との関わりを充実させていくことに努めた。 ・今年度は未就園児教室の利用者が多く、子育て支援の充実を図ることができた。 ・少子化を見据え、園児募集や地域への園のアピールの必要性を感じる。今後検討していく。
教員の資質・能力向上	4	・園外研修が減る中でオンラインや配信教材を活用し、研修に参加した。 ・特別支援の研修・ケース会議の充実を図り、職員が一致した支援に取り組むことができた。
保護者との連携	3	・認定こども園として、1号園児・2号園児それぞれの保護者との理解を深め、連携についてさらに充実を努めた。 ・コロナ対策のため保護者が来園する行事が減り、園児の様子を見ていただく機会が減っている中で、持ち方を工夫し行事を開催した。さらにブログの発信等子どもたちの園での様子を見ていただける取り組みを継続していく。 ・保護者の相談・子育ての支援に努め信頼を得ると共に、子育てに不安を抱える保護者へのサポートを継続し行っていく。

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 令和4年度の総評

結果	理由
3.3	・チーム藤幼稚園として職員間で連携を図り、保育に臨むことができた。 ・制限が多い中、子どもの安全を一番に考え、日々の保育や行事等を進めた。子どもの成長を感じていただける場としての行事の検討も行い、保護者の方にもご理解をいただき取り組みを進めることができた。 ・感染対策は日々の清掃、消毒、手洗い指導等、感染予防に努めた。 ・特別支援教育における研修や地域の連携に努めることができた。保健センターやこども発達支援センターとの連携を行い、子育て支援の充実へとつながった。 ・園児の怪我が1件あり、保育計画、安全点検の見直しを行うと共に、園バス、保育を含めた安全管理を行っていく。 ・園児数の減少は否めず、今後も地域に必要とされる幼稚園として情報を発信し、園児の募集へと繋げていく。

5. 来年度に向けての課題

- ・教育内容カリキュラム作成のさらなる充実を図る。
- ・特別支援教育の研鑽・個別の支援計画の充実・補助職員との連携に努めるとともに、保護者支援も行っていく。
- ・冬季の地震・津波災害を想定してのさらなる訓練を行い、危機管理マニュアルの見直し、職員研修の充実を図る。
- ・午後保育利用人数の増加を今後も踏まえ、職員の加配、保育内容の充実を図る。
- ・感染対策にしっかり取り組むと共に、子どもたちが成長し、笑顔が輝く場を整え、保育の計画を行っていく。